

ステータス	実施期間	実施責任者	実施メンバー	主な実施事項	備考
① 危害シナリオ作成 ② リスク評価 ③ リスク低減策提案	① 2020年6月1日～7月31日 ② 2020年8月1日～8月31日 ③ 2020年9月1日～9月30日	NITE製品安全センター 情報解析企画課 課長	情報解析企画課 解析チーム	① NITE事故情報 外部機関ヒヤリハット情報の内容を精査し危害発生シナリオを作成 ② FMEAを作成し危害シナリオの漏れがないことを確認しリスクの洗い出しを実施 ③ リスク低減策の提案	-

No.	NITE情報 危害シナリオ	a) 製品部位 製品仕様		b) ハザード 危害を引き起こす潜在的源		c) 使用環境・状況 ヒヤリハット内容/ヒヤリハットシナリオ		d) 危害 人的被害・物的被害などの拡大被害			e) 安全規格・基準		f) リスク見積り評価 頻度×規模=大きさ			g) 追加対策の検討
		大分類	中分類	大分類	中分類	番号	ヒヤリハット内容	大分類	中分類	部位	規格	内容	頻度	規模	大きさ	内容
1	屋根の雪を除去しようとはしごとをやってい た際にしごとが屋根から滑り、はしごとと 地面に転落した	はしごと	アルミ製・ 折り畳み式	①サイズ、 形状、表面 ②位置エネ ルギー	①滑りやすい表面②機 械的安定性の低さ、 ユーザーが高所にいる	-	-	軽傷	転落	頭部	不明	-	-	レベルⅠ 軽微	-	後付け安全補助器具や 補助者を付ける。また は外注・作業ボラン ティア。
2	農作業小屋内の2階で被害者が米の乾燥機 (約5.02m、小屋内に1.2階を吹き抜けて設 置)の中を点検するため、はしごとを立て掛 けて作業していた際、身体が多少不自由で あったためバランスを崩して吹き抜け部か ら転落し、1階コンクリート地面に頭を打ち、 死亡したものと推定される。	はしごと	鉄製	位置エネ ルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	死亡	転落	頭部	不明	-	-	レベルⅣ 致命的	-	後付け安全補助器具や 補助者を付ける。また は外注・作業ボラン ティア。
3	トタンの外壁を貼り付けるため、自作の木 製の足場の上にはしごとを立てかけて作業し ていたところ、足場が不安定であったため にバランスを崩し、転落して死亡した。	はしごと	アルミ製・ 伸縮式	①サイズ、 形状、表面 ②位置エネ ルギー	①滑りやすい表面②機 械的安定性の低さ、 ユーザーが高所にいる	-	-	死亡	転落	全身	不明	-	-	レベルⅣ 致命的	-	後付け安全補助器具や 補助者を付ける。また は外注・作業ボラン ティア。
4	屋根の上の雪を下ろそうとしたところ、設 置状態がよくなかったためにはしごとから転 落し、胸骨を骨折する重傷を負った。	はしごと	アルミ製	①サイズ、 形状、表面 ②位置エネ ルギー	①滑りやすい表面②機 械的安定性の低さ、 ユーザーが高所にいる	-	-	重傷	転落	胸部	不明	-	-	レベルⅢ 重大	-	後付け安全補助器具や 補助者を付ける。また は外注・作業ボラン ティア。
5	自宅の雪下ろしのためにはしごとから屋根に 足をかけようとした男性がはしごとで転落 し(高さ約2.4m)、頭や両足に軽傷を負っ た。	はしごと	不明	①サイズ、 形状、表面 ②位置エネ ルギー	①滑りやすい表面②機 械的安定性の低さ、 ユーザーが高所にいる	-	-	軽傷	転落	頭部、足	不明	-	-	レベルⅠ 軽微	-	後付け安全補助器具や 補助者を付ける。また は外注・作業ボラン ティア。
6	はしごに足をかけたままスコップで屋根の 雪を下ろしていたところ、バランスを崩し て転落し、股関節を骨折する重傷を負っ た。	はしごと	-	①サイズ、 形状、表面 ②位置エネ ルギー	①滑りやすい表面②機 械的安定性の低さ、 ユーザーが高所にいる	-	-	重傷	転落	脚部	不明	-	-	レベルⅢ 重大	-	後付け安全補助器具や 補助者を付ける。また は外注・作業ボラン ティア。
7	女性が除雪のために自宅カーポートにかけ たはしごとを上げていたところ、3、4段目 でバランスを崩して圧雪地面に転落し、右上 腕骨と肋骨を骨折する重傷を負った。	はしごと	不明	①サイズ、 形状、表面 ②位置エネ ルギー	①滑りやすい表面②機 械的安定性の低さ、 ユーザーが高所にいる	-	-	重傷	転落	腕、肋骨	不明	-	-	レベルⅢ 重大	-	後付け安全補助器具や 補助者を付ける。また は外注・作業ボラン ティア。
8	被害者が屋根に立てかけたはしごとに登り、 雪下ろしの作業中(高さ約5m)に、屋根から 落ちてきた雪が当たったため、バラ ンスを崩してはしごとで転落したものと 推定される。	はしごと	アルミ製	①サイズ、 形状、表面 ②位置エネ ルギー	①滑りやすい表面②機 械的安定性の低さ、 ユーザーが高所にいる	-	-	軽傷	転落	頭部	不明	-	-	レベルⅠ 軽微	-	後付け安全補助器具や 補助者を付ける。また は外注・作業ボラン ティア。
9	1名が死亡した状態で発見された。現場に 折損した当該製品があった。	はしごと	アルミニウ ム合金製	位置エネ ルギー	機械的強度の低さ	-	-	死亡	衝撃による 折損(原因 不明)	未確認	不明	-	レベル3	レベルⅣ 致命的	A1	-
10	支柱を伸ばした際、一方のロックがかかっ ておらず、また他方のロックも手が触れた ことにより外れたため、はしごとが縮んで指 を挟み、軽傷を負った。なお、はしごとが縮 んだ時の踏ざんと踏ざんの隙間は狭く、指 が挟まる寸法であった。	はしごと	アルミ製・ 伸縮式	サイズ、形 状、表面	構成要素間の隙間また は開口部	-	-	軽傷	挟み込み	手	不明	-	レベル3	レベルⅠ 軽微	B1	段階的に折り畳まれる 構造変更、補助者・定 期点検、外注・作業ボ ランティア
11	はしごとを立てた状態でロック解除レバーを 操作した際、指を踏み込みと支柱の固定部 上に置いていたため、落下してきた上段の 固定部に挟まれた	はしごと	アルミ製・ 伸縮式	サイズ、形 状、表面	構成要素間の隙間また は開口部	-	-	軽傷	挟み込み	手	不明	-	レベル3	レベルⅠ 軽微	B1	段階的に折り畳まれる 構造変更、補助者・定 期点検、外注・作業ボ ランティア
12	車庫の屋根から降りる際に、屋根の一部が 破損する等の原因で、被害者がバランスを 崩してはしごととともに転落し、自家用車 のバンパー部に倒れかかった状態のはしごと 4段目の踏みざんに被害者が落下したた め、その際の衝撃により両側の支柱が折 れ曲がったものと推定される。	はしごと	アルミ製・ 一連	位置エネ ルギー	機械的安定性の低さ、 ユーザーが高所にいる	-	-	軽傷	転落	頭部	不明	-	レベル3	レベルⅠ 軽微	B1	後付け安全補助器具や 補助者を付ける。また は外注・作業ボラン ティア。

ステータス	実施期間	実施責任者	実施メンバー	主な実施事項	備考
①危害シナリオ作成 ②リスク評価 ③リスク低減策提案	①2020年6月1日～7月31日 ②2020年8月1日～8月31日 ③2020年9月1日～9月30日	NITE製品安全センター 情報解析企画課 課長	情報解析企画課 解析チーム	①NITE事故情報 外部機関ヒヤリハット情報の内容を精査し危害発生のシナリオを作成 ②FMEAを作成し危害シナリオの漏れがないことを確認しリスクの洗い出しを実施 ③リスク低減策の提案	-

No.	NITE情報 危害シナリオ	a) 製品部位 製品仕様		b) ハザード 危害を引き起こす潜在的源		c) 使用環境・状況 ヒヤリハット内容/ヤリハット内/ヤリハット外/危害シナリオ			d) 危害 人的被害・物的被害などの拡大被害			e) 安全規格・基準		f) リスク見積と評価 頻度×規模＝大きさ			g) 追加対策の検討
		大分類	中分類	大分類	中分類	番号	大分類	中分類	部位	規格	内容	頻度	規模	大きさ	内容		
13	脚カバーの下にフェルトが貼られていたため、当該製品の昇降の繰り返しにより脚部が前方にずれて左側のフックが固定パイプから外れ、右側に転落したものと推定される。(3-5段目から転落) なお、転倒時に当該製品の右側フックのみが固定パイプに掛かった状態となったため、右側フックが脱落したものと推定される。	はしご	アルミニウム合金製・ロフト用	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	仙骨を骨折	不明	-	レベル3	レベルIII 重大	B3	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
14	倉庫の雨どいを見るため、濡れたコンクリート面に適切な角度より小さい角度で設置していたところ、降りる際にはしご脚部が滑って転落し、腰部を打撲する重傷を負った。なお、補助者はいなかった。	はしご	アルミニウム合金製・伸縮式	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	腰部	不明	-	レベル4	レベルIII 重大	A1	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
15	屋根の上の雪を下ろすため、雪の上に通じた角度より小さい角度で設置していたところ、はしごが後方に滑って転落し、首を打撲するなどの軽傷を負った。	はしご	アルミ製	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	首	JIS S1121-2010 満足する	アルミニウム合金製脚立及びはしご	レベル3	レベルI 軽微	B1	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
16	クッションを持って昇ろうとしたところ、はしごを壁を連結するフックが外れたためはしごが前のめりに倒れ、転落して骨折する重傷を負った。	はしご	ロフト用	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	不明	不明	-	レベル2	レベルIII 重大	B2	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
17	過去に踏みざんに衝撃を受けた際にロックピンが変形し、そのまま使用を続けたためにロック部品が破損して踏みざんに折損した可能性及び踏みざんのロックが不十分だったため踏みざんに折損した可能性があるが、使用時の詳細は不明であり、原因が特定できなかった。	はしご	アルミ製・伸縮式	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	肩、腕、腰部を打撲	JIS S1121-2013 満足する	アルミニウム合金製脚立及びはしご	レベル5	レベルI 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
18	電柱に適切な角度より小さい角度で設置していたところ、はしごを昇る際に転落して背部を打撲、死亡した。	はしご	折り畳み式	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	死亡	転落	背部	不明	-	レベルIV	致命的	-	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
19	使用者が天井裏からはしごを下りる際の振動で滑り止め用部品が後方に滑りはしごの上部が天井の開口部から外れ、はしごの下から3、4段目から転落した。	はしご	アルミニウム合金製・二連	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	頭部を強打、肋骨を骨折	不明	-	レベル3	レベルIII 重大	B3	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
20	屋根に乗り移ろうとしたところ、ロックが外れてはしごが滑り落ちたため、バランスを崩して転落、外傷性脳内出血、首・胸部を骨折するなどの重傷を負った。なお、はしごは補助者が支えていた。	はしご	アルミニウム合金製・伸縮式	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	頭部、首、胸部	JIS S1121-2013 満足する	アルミニウム合金製脚立及びはしご	レベル2	レベルIII 重大	B2	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
21	屋内の建設現場で平らな木材の上に製品を伸ばして設置していた。下から1段目の踏みざんに足をかけて上ろうとしたところ、踏みざんが外れて足を踏みはずすような形ですぐに打撲を負った。なお、補助者はいなかった。横スライド式のロックボタンをスライドさせると、ロックピンにより固定される。最下段の踏みざんは固定式、それ以外(2段目から11段目まで)が伸縮する。	はしご	アルミ製・伸縮式	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	脚部	不明	-	レベル5	レベルI 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
22	雨の中、傾斜のある不安定な地面に適切な角度より小さい角度で設置していたところ、下はしごが滑って転落、打撲などの重傷を負った。なお、傾斜を緩和するため、事故当時は接地面にコンクリートブロックを置いていた。また、補助者は屋根の上から上はしごを固定していた。	はしご	アルミ製・伸縮式	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	不明	不明	-	レベル3	レベルI 軽微	B1	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
23	長期使用によりはしごの手すり上部を天井に固定するボルト及びナットが緩んで外れ、手すりが不安定となっていたため、手で触れた際に指を挟み、神経断裂などの重傷を負った。	はしご	折り畳み式	サイズ、形状、表面	構成要素間の隙間または開口部	-	-	-	重傷	挟み込み	手	不明	-	レベル4	レベルIII 重大	A1	段階的に折り畳まれる構造変更、補助者・定期点検、外注・作業ボランティア

ステータス	実施期間	実施責任者	実施メンバー	主な実施事項	備考
①危険シナリオ作成 ②リスク評価 ③リスク低減策提案	①2020年6月1日～7月31日 ②2020年8月1日～8月31日 ③2020年9月1日～9月30日	NITE製品安全センター 情報解析企画課 課長	情報解析企画課 解析チーム	①NITE事故情報 外部機関ヒヤリハット情報の内容を精査し発生シナリオを作成 ②NITE 7FAを作成し危険シナリオの漏れがないことを確認しリスクの洗い出しを実施 ③リスク低減策の提案	-

No.	危険シナリオ	a) 製品部位 製品仕様		b) ハザード 危害を引き起こす潜在的源		c) 使用環境・状況 ヒヤリハット内容/様々な使用形態			d) 危害 人的被害・物的被害などの拡大被害			e) 安全規格・基準		f) リスク見積と評価 頻度×規模=大きさ			g) 追加対策の検討 内容
		大分類	中分類	大分類	中分類	番号	ヒヤリハット内容	ヤリハットシナリオ	大分類	中分類	部位	規格	内容	頻度	規模	大きさ	
24	天井収納はしごを使用しようとしてはしごの蓋板を開けて、はしごをスライドさせたところ、はしごが蓋板が落下し、頭部と背骨を骨折した。 製品の枠を補強板に固定するための木ねじが、施工説明書で指示された本数で施工されていないため、はしごを引き下げた時に生じた力が直接枠板に作用し、使用に伴って枠板が耐久劣化して破断して事故に至ったものと推定される。	はしご	アルミ製・折り畳み式	-	-	-	-	-	重傷	-	頭部、背骨を骨折	不明	-	レベル2	レベルIII 重大	B2	-
109	滑った柔らかい地面に設置していたところ、降りる際に、右側に重心がかかって支柱が沈み込んだためにねじれるようにして転落、胸部を骨折するなどの重傷を負った。	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	-	①サイズ、形状、表面	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、	-	-	-	重傷	転落	胸部	不明	-	レベル2	レベルIII 重大	B2	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
110	2階ベランダに立てかけてTVアンテナ調整を終えて降りる際、はしごを裏表逆に設置していたため、開き止め金具の先端が破断し転落、骨折などの重傷を負った。	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	-	①サイズ、形状、表面	①滑りやすい表面②機械的強度の低さ、	-	-	-	重傷	転落	不明	不明	-	レベル2	レベルIII 重大	B2	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
111	ベランダ壁面に立てかけていたところ、昇る際に何らかの原因でバランスを崩し、転落して足に軽傷を負った。	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、	-	-	-	軽傷	転落	脚部	不明	-	レベル4	レベルI 軽微	B2	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
112	当該製品をはしご状態で草の生えた地面に置いて、壁が雨風に立ってかけてはしごの裏面を使用した。当該製品の中央付近まで登った時に当該製品が閉じる方向に過大な荷重が加わり、開き止め金具が変形して、事故に至ったものと推定される。	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、	-	-	-	重傷	転落	負傷部位不明、骨折	不明	-	-	レベルIII 重大	-	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
113	剪定作業をするために、製品付近の木の上で作業していた。製品をはしご状態で裏面を使用しており、開き止め金具を片側のみ掛けた状態であった。はしごに乗り移った際に、身体バランスを崩して製品の上に落下した。もしくは、乗り移った際の荷重で開き止め金具が破断してはしごが折り畳まれたことで転落した。	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	アルミ製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	足	不明	-	レベル3	レベルI 軽微	B1	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
114	はしご状態で剪定作業のために木に立てかけて柔らかい土の上に設置していた。作業中に身体バランスを崩して転落した時に、支柱に身体が接触し支柱に過大な荷重が加わって破断した。	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、	-	-	-	軽傷	転落	腰	不明	-	レベル3	レベルI 軽微	B1	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
115	はしごを裏表逆し、開き止め金具を片側しかかけず砂利に設置していたところ、作業中の振動や衝撃により開き止め金具が破断したため転落、足に軽傷を負った。	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的強度の低さ、	-	-	-	軽傷	転落	足	不明	-	レベル2	レベルI 軽微	C	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
116	砂利の上に設置し、工事用資材を背負いながら昇っていたところ、バランスを崩して転落、頭部を打って外傷性にも膜下出血の重傷を負った。	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	アルミ製	①サイズ、形状、表面	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、	-	-	-	軽傷	転落	頭部	不明	-	レベル3	レベルI 軽微	B1	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
117	剪定作業のために、はしごを上っていく際にバランスを崩して転倒した。	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	アルミ製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	頭部、首、胸部	不明	-	レベル3	レベルI 軽微	B1	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
118	傾斜のある柔らかい地面の上で、はしごを裏表逆にして木に立て掛けていたところ、開き止め金具を片方だけ忘れていたため、開き止め金具が破断してはしごが折りたたまれ、転落して肩や脚部を打撲する軽傷を負った。	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	アルミ製	①サイズ、形状、表面	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、	-	-	-	軽傷	転落	肩、脚部	不明	-	レベル2	レベルI 軽微	C	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
119	製品本体及び取扱説明書に関節部側のすき間に関する注意表示がなかったために、使用者がM字型に設置していた当該製品の関節部の上に手を置いた際に、ロックされていない関節部が動いて関節部のロック機構が作動し、すき間が閉じて指を挟んだ。(関節部にロック機構を備えており、一定の角度に達すると自動的にロックのかかる構造)	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	アルミニウム合金製	サイズ、形状、表面	構成要素間の隙間または開口部	-	-	-	重傷	挟み込み	手	不明	-	レベル4	レベルIII 重大	A1	段階的に折り畳まれる構造変更、補助者・定期点検、外注・作業ボランティア

別紙 1

ステータス	実施期間	実施責任者	実施メンバー	主な実施事項	備考
①危険シナリオ作成 ②リスク評価 ③リスク低減案提案	①2020年6月1日～7月31日 ②2020年8月1日～8月31日 ③2020年9月1日～9月30日	NITE製品安全センター 情報解析企画課 課長	情報解析企画課 解析チーム	①NITE事故情報、外部機関ヒヤリハット情報の内容を精査し危険発生シナリオを作成 ②7品目、7TAを作成し危険シナリオの漏れがないことを確認しリスクの洗い出しを実施 ③リスク低減案の提案	-

No.	危険シナリオ	a) 製品部位 製品仕様		b) ハザード 危害を引き起こす潜在的源		c) 使用環境・状況 ヒヤリハット内容/ヒヤリハット危険シナリオ			d) 危害 人的被害・物的被害などの拡大被害			e) 安全規格・基準			f) リスク見積と評価 頻度×規模=大きさ			g) 追加対策の検討
		大分類	中分類	大分類	中分類	番号	ヒヤリハット内容	ヒヤリハット危険シナリオ	大分類	中分類	部位	規格	内容	頻度	規模	大きさ	内容	
120	下から5段目まで降りた時に右支柱が折れて身体のパランスを崩して転落した。なお折れた原因は不明。	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	足	不明	-	レベル2	レベル1 軽微	C	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。	
121	荷重量を加えるとたわむ位置で樹木の幹に立てかけ、左足をアスファルト、右足を柔らかい土の上に設置していた。(踏みざんが左側に約3.7度下がっていた。)また、開き止め金具を片側のみロックし、はしご裏面を使用していた。下から7段目の踏みざんに両足を乗せ、片手に枝、もう一方の手に枝はさみを持った状態で作業をしていたところ、開き止め金具を止めるリベットが外れて前方向に転落した。	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	足、腰	不明	-	レベル2	レベル1 軽微	C	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。	
122	設置角度約39~42度で壁に立て掛けていた。滑り止め端が後ろに滑り、立て掛け部からずれて身体のパランスを崩して、はしごの上に転落したため、支柱が折損した。	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	アルミニウム合金製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	胸部、手、脚部	JIS S1121-2013 満足する	アルミニウム合金製脚立及びはしご	-	レベルIII	重大	-	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。
123	片側の開き止め金具のみロックし、トラックの荷台に立て掛けてはしごの裏面を使用していた。片手に買い物かご(約10kg)を持って、はしごを降りていたところ、下から4段目の踏みざんに足を掛けた時に、開き止め金具のロックピンが破損して折り畳まれ、転落した。	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	アルミ製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	首、背中、腰	不明	-	レベル3	レベル1 軽微	B1	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。	
124	タイル張りの床面に適正角度より浅い角度で設置しバルコニー手摺り下部に立て掛けて使用していた。木の剪定作業をするためにはしごを使用していたところ、上から4段目の踏みざん取付部で破損し、身体のパランスを崩して転落した。	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	アルミニウム合金製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	足、脚部	不明	-	レベル3	レベルIII 重大	B3	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。	
125	屋根の清掃のため、傾斜のあるコンクリート面に適切な角度より小さい角度で設置していたところ、はしごを降る際に上下の接地面が滑って転落し、頭部と首を打撲するなどの軽傷を負った。	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	アルミ製	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	頭部、首、手	不明	-	レベル2	レベル1 軽微	C	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。	
126	柔らかい土の上に適切な角度より小さい角度で設置し、屋根の状態を確認していたところ、はしごが後方に滑ったため転落、足を骨折するなどの重傷を負った。	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	アルミニウム合金製	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	足	不明	-	レベル3	レベルIII 重大	B3	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。	
127	バスの清掃のため、フロントガラス部に立て掛けていたところ、昇る際にパランスを崩して転倒、頭部を打撲するなどの軽傷を負った。	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	アルミ製	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	頭部	不明	-	レベル3	レベル1 軽微	B1	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。	
128	蛍光灯の清掃をしていたところ、支柱が折れて転倒、背部と腕を打撲するなどの軽傷を負った。事故以前に過大な荷重を受けるなどして支柱に亀裂が生じていたとみられる。	はしご兼用脚立(はしごとして使用)	アルミ製伸縮式	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、機械的強度の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	臀部、腕	不明	-	レベル4	レベル1 軽微	B2	後付け安全補助器具や補助者を付ける。または外注・作業ボランティア。	

レベル	オーダー
5	4 頻発する
4	5 しばしば発生する
3	6 時々発生する
2	7 起こりそうにない
1	8 まず起こり得ない
0	9 考えられない

別紙1

ステータス	実施期間	実施責任者	実施メンバー	主な実施事項	備考
①危害シナリオ作成 ②リスク評価 ③リスク低減策提案	①2021年4月1日～7月31日 ②2021年8月1日～2021年12月31日 ③2022年1月1日～2022年3月31日	NITE製品安全センター 情報解析企画課 課長	情報解析企画課 解析チーム	①NITE事故情報、外部機関ヒヤリハット情報の内容を精査し危害発生シナリオを作成 ②FTA、FTAを作成し危害シナリオの漏れがないことを確認しリスクの洗い出しを実施 ③リスク低減策の提案	・転落事故の要因は①高齢者の無理な体勢(66件)②製品の破損(9件)のいずれかがトリガーだが、危害シナリオは①②を合わせたFTAを作成 ・重傷化率は37/75≒49%、補助者付き2/75≒3%、屋内：屋外=11:60=1:6 ・足の位置は天板、踏み棧：不明=6:39:30、落下平均高は1.38m、落下場所は舗装19、未舗装37、屋内11、その他・不明8

No.	NITE情報 危害シナリオ	a) 製品部位 製品仕様		b) ハザード 危害を引き起こす潜在的源			c) 使用環境・状況 ヒヤリハットなど様々な使用形態			d) 危害 人的被害、物的被害などの拡大被害			e) 安全規格・基準			f) リスク見積と評価 頻度×規模=大きさ			g) 追加対策の検討
		大分類	中分類	大分類	中分類	ヒヤリハット被害	ヒヤリハット被害	ヒヤリハット被害	大分類	中分類	部位	規格	内容	頻度	規模	大きさ	内容		
167	石畳の上に設置し、剪定作業をしていたところ、後支柱側へ転落し、腰部や脚部に重傷を負った。なお、電動のこぎりを持っていた。	脚立	アルミ製・三脚	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	腰部、脚	不明	-	-	レベIII 重大	-	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
168	土の上に不適切な角度で設置し、剪定作業をしていたところ、バランスを崩して右側へ転落し、胸部を骨折するなどの重傷を負った。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	胸部、腕	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
169	使用者が上から2段目と3段目の踏みざんに足をかけた状態でバランスをくずして転倒した際に、身体の一部が後支柱に接触して破断し、腰から背中にかけて打撲を負った。なお、本体表示の警告ラベルがほとんど欠落した状態で使用していた。また取扱説明書には「上から3段目以上の踏みざんには乗らない」旨の記載があった。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	腰、背中	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
170	固い土の上に設置し、上から2～3段目の踏みざんに乗って剪定作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、頭部を強打するなどの軽傷を負った。なお、取扱説明書には上から3段目以上の踏みざんには乗らない旨記載されていた。また、安全靴を履き、はさみを持っていた。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	頭部、手	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
171	底の平らな固い土の上に昇降面を約75度、背面脚を75度よりも直角に近い角度で設置し、剪定作業をしていた。植木から地面に降りようとして剪定道具を天板の踏みざんに引っかけ、一方の手を植木の枝、もう一方の手で植木の幹を持ち、片足を植木に乗せ、もう一方の足を天板に乗せて体重をかけたときに三脚の調整脚が折れて転倒し、手を裂傷、腰に打撲を負った。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	手、腰	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
172	庭木を剪定するために、傾斜のある場所に三脚を設置し天板を含め上から6段目の踏みざんに両足で乗り作業をしていたところ、バランスを崩して転倒した。なお、昇降面角度を取扱説明書及び本体表示に示された設置角度に調整していなかった。(後支柱を84.5度)	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	全身	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
173	比較的固く平らな地面に不適切な角度で設置し、上から3～4段目の踏みざんに乗って剪定作業をしていたところ、バランスを崩して右側へ転落し、背中や脚を打撲するなどの軽傷を負った。なお、片手にはさみを持っていた。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	背中、脚	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
174	傾斜のある柔らかい土の上に設置し、下から7～8段目の踏みざんに乗って収穫作業をしていたところ、バランスを崩して左側へ転落し、背中や脚を打撲するなどの軽傷を負った。	脚立	アルミ製・三脚	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	背中、脚	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		

別紙1

ステータス	実施期間	実施責任者	実施メンバー	主な実施事項	備考
①危害シナリオ作成 ②リスク評価 ③リスク低減策提案	①2021年4月1日～7月31日 ②2021年8月1日～2021年12月31日 ③2022年1月1日～2022年3月31日	NITE製品安全センター 情報解析企画課 課長	情報解析企画課 解析チーム	①NITE事故情報、外部機関ヒヤリハット情報の内容を精査し危害発生シナリオを作成 ②FTA、FTAを作成し危害シナリオの漏れがないことを確認しリスクの洗い出しを実施 ③リスク低減策の提案	・転落事故の要因は①高齢者の無理な体勢（66件）②製品の破損（9件）のいずれかがトリガーだが、危害シナリオは①②を合わせたFTAを作成 ・重傷化率は37/75≒49%、補助者付き2/75≒3%、屋内：屋外＝11:60＝1:6 ・足の位置は天板、踏み棧：不明＝6:39:30、落下平均高は1.38m、落下場所は舗装19、未舗装37、屋内11、その他・不明8

No.	NITE情報		a) 製品部位 製品仕様		b) ハザード 危害を引き起こす潜在的源		c) 使用環境・状況 ヒヤリハットなど様々な使用形態			d) 危害 人的被害、物的被害などの拡大被害			e) 安全規格・基準			f) リスク見積と評価 頻度×規模＝大きさ			g) 追加対策の検討
	危害シナリオ	大分類	中分類	大分類	中分類	ヒヤリハット被害等	ヒヤリハット被害等	ヒヤリハット被害等	大分類	中分類	部位	規格	内容	頻度	規模	大きさ	内容		
175	三脚を滑りやすいコンクリート上に昇降面設置角度を守らずに設置していた。(約67度) 店舗外壁にある看板を清掃するために片手に水道ホースを持って上から3,4段目に足を掛けて作業をしていたところバランスを崩して転倒し、後支柱調整金具付近に身体が接触し、調整脚が破断した。なお、取扱説明書には「滑りやすい面に設置することの禁止、使用角度は75度に設置するように警告表示があった。」	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	胸部、腰	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
176	傾斜のある柔らかい土の上に不適切な角度で設置し、剪定作業をしていたところ、バランスを崩して転倒し、頭部や首、肩を打撲するなどの軽傷を負った。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	頭部、首、	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
177	剪定作業をするために、柔らかい地面に三脚を設置し、上から3-4段目に乗って片手にのこぎりを持って作業をしていたところ、バランスを崩して転倒し、背中を打撲を負った。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	背中	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
178	土とコンクリートにまたがるように設置し、剪定作業をしていたところ、バランスを崩して転倒し、頭部や背中を打撲するなどの軽傷を負った。なお、チェーンソーを持っていたが、取扱説明書にはチェーンソーなど身体が安定が得られない道具は使用しない旨記載されていた。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	頭部、背中	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
179	雨樋を清掃するために、脚立を昇降面の支柱の左側を土の上、右側を石の上に設置し、上から3段目に乗って作業を行っていたところ、バランスを崩して転倒し、頭部を打撲、足首を捻挫した。なお本体表示で上から2段目及び3段目に乗ることを禁止している。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落(原因不明)	頭部、足	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
180	傾斜のある地面に不適切な角度で設置し、カーポートの修理作業をしていたところ、バランスを崩して左側に転倒し、腰部を打撲するなどの軽傷を負った。	脚立	アルミ製・三脚	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	腰部、足	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
181	剪定作業をするために、柔らかい土の上に設置して作業をしていたところバランスを崩して転倒し、腰に軽傷を負った。なお、取扱説明書には接地面が沈み込むような柔らかい地面では設置しない旨の記載があった。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	腰	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
182	剪定作業をするために、調整脚と右側支柱を柔らかい土の上に、左側支柱をコンクリート面に設置して、上から4段目に乗って作業をしていたところ、使用者がバランスを崩したことで、脚立が右側前方にもたれかかり、調整脚の引き止めチェーンに引っ張られて湾曲し、傾いた状態で上下から力が加わり、調整脚が破損し、使用者は転落した。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	肩、腹部	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		

別紙1

ステータス	実施期間	実施責任者	実施メンバー	主な実施事項	備考
①危害シナリオ作成 ②リスク評価 ③リスク低減策提案	①2021年4月1日～7月31日 ②2021年8月1日～2021年12月31日 ③2022年1月1日～2022年3月31日	NITE製品安全センター 情報解析企画課 課長	情報解析企画課 解析チーム	①NITE事故情報、外部機関ヒヤリハット情報の内容を精査し危害発生シナリオを作成 ②FT図、FTAを作成し危害シナリオの漏れがないことを確認しリスクの洗い出しを実施 ③リスク低減策の提案	・転落事故の要因は①高齢者の無理な体勢(66件)②製品の破損(9件)のいずれかがトリガーだが、危害シナリオは①②を合わせたFTAを作成 ・重傷化率は37/75≒49%、補助者付き2/75≒3%、屋内：屋外=11:60=1:6 ・足の位置は天板、踏み棧：不明=6:39:30、落下平均高は1.38m、落下場所は舗装19、未舗装37、屋内11、その他・不明8

No.	NITE情報 危害シナリオ	a) 製品部位 製品仕様		b) ハザード 危害を引き起こす潜在的源			c) 使用環境・状況 ヒヤリハットなど様々な使用形態			d) 危害 人的被害、物的被害などの拡大被害			e) 安全規格・基準			f) リスク見積と評価 頻度×規模=大きさ			g) 追加対策の検討
		大分類	中分類	大分類	中分類	ヒヤリハット被害	ヒヤリハット被害	ヒヤリハット被害	大分類	中分類	部位	規格	内容	頻度	規模	大きさ	内容		
183	剪定作業をするために、脚立を支えてもらいながら、下から6,7段目の踏みざんに乗って昇降面側を背にして作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、軽傷を負った。	脚立	金属製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	不明	不明	-	レベル5	レベルI 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
184	庭木に薬剤を噴霧する作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、頭部と腰部を打撲するなどの軽傷を負った。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	頭部、腰部	不明	-	レベル5	レベルI 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
185	柔らかい土の上に設置し、剪定作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、首を打撲するなどの軽傷を負った。なお、三脚の滑り止め端具には、発送時に取り付けられた発泡スチロールがそのまま残っており、滑りやすい状態にあったと推定される。	脚立	アルミ製・三脚	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	首	不明	-	レベル5	レベルI 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
186	傾斜のある地面に不適切な角度で設置し、剪定作業をしていたところ、バランスを崩して右側に転落し、胸部を骨折するなどの重傷を負った。なお、乗ることが禁止されている3段目の踏みざんに片足を乗せていた。	脚立	アルミ製・三脚	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	胸部	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
187	剪定作業をするために、柔らかい地面に三脚を設置し、片手に枝切り鋏を持って後支柱の荷物台と上から2段目の踏みざんに乗って作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、頭部を15針縫う重傷を負った。なお、取扱説明書には「荷物台の上に足を乗せない、上から3段目以上の踏みざんに乗らない」旨の記載があった。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	頭部	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
188	アスファルトと柔らかい土の上にまたがるように設置し、剪定作業を終え降りていたところ、バランスを崩して転落し、腰部を打撲するなどの重傷を負った。なお、天板の上で作業をしていた。	脚立	アルミ製・三脚	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	腰部	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
189	剪定作業をするために、少し傾斜のある地面に昇降面を適正角度よりも浅い角度(約67度)で設置していた。下から4段目の踏みざんに片足を5段目にもう一方の足を乗せて、片手で枝を持ちもう一方の手でのござりを持って剪定作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、肋骨を骨折、骨盤を骨折する重傷を負った。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	胸部、腰	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
190	剪定作業をするために、傾斜のある柔らかい地面に三脚を適正角度より垂直に近い角度で設置し、三脚の下から4,5段目の踏みざんに乗り、片手に剪定はさみをもう一方の手で枝を持ち作業をしていたところ、後支柱の伸縮脚が折損したことでバランスを崩し転落し、脊椎を損傷する重傷を負った。なお、取扱説明書には「前支柱と後支柱の使用角度は約75度にして設置すること、柔らかい地面では使用しない」旨の記載があった。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	脊椎	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		

別紙1

ステータス	実施期間	実施責任者	実施メンバー	主な実施事項	備考
①危害シナリオ作成 ②リスク評価 ③リスク低減策提案	①2021年4月1日～7月31日 ②2021年8月1日～2021年12月31日 ③2022年1月1日～2022年3月31日	NITE製品安全センター 情報解析企画課 課長	情報解析企画課 解析チーム	①NITE事故情報、外部機関ヒヤリハット情報の内容を精査し危害発生シナリオを作成 ②FT図、FTAを作成し危害シナリオの漏れがないことを確認しリスクの洗い出しを実施 ③リスク低減策の提案	・転落事故の要因は①高齢者の無理な体勢(66件)②製品の破損(9件)のいずれかがトリガーだが、危害シナリオは①②を合わせたFTAを作成 ・重傷化率は37/75≒49%、補助者付き2/75≒3%、屋内：屋外=11:60=1:6 ・足の位置は天板、踏み棧：不明=6:39:30、落下平均高は1.38m、落下場所は舗装19、未舗装37、屋内11、その他・不明8

No.	NITE情報 危害シナリオ	a) 製品部位 製品仕様		b) ハザード 危害を引き起こす潜在的源		c) 使用環境・状況 ヒヤリハットなど様々な使用形態			d) 危害 人的被害、物的被害などの拡大被害			e) 安全規格・基準			f) リスク見積と評価 頻度×規模=大きさ			g) 追加対策の検討
		大分類	中分類	大分類	中分類	ヒヤリハット被害	ヒヤリハット被害	ヒヤリハット被害	大分類	中分類	部位	規格	内容	頻度	規模	大きさ	内容	
191	砂地に設置し、剪定作業をしていたところ、剪定した枝が後支柱にぶつかるなどしたため破断・転落し、胸部を打撲・足を骨折するなどの重傷を負った。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	胸部、足	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。	
192	土の上に設置して倉庫の壁板の補修作業中に、脚立から乗り出して作業物を押したため、バランスを崩して転落し、頭部に打撲、手を裂傷する軽傷を負った。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	頭部、手	不明	-	レベル5	レベルI 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。	
193	ほぼ平坦な土の上に設置し、取壊作業をしていたところ、後支柱が破断・転落し、股関節を打撲するなどの重傷を負った。構造上強度を超える荷重が加わったことで亀裂が生じ、その後の使用によって進展していたものと思われる。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、機械的強度の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	股関節	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。	
194	剪定作業をするために、駐車上のアスファルト路面に設置し、天板から1つ下の踏みざんに足を乗せて作業をしていたところ、バランスを崩して転落し胸椎を骨折する重傷を負った。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	胸部	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。	
195	コンクリートの上に設置し、上から2段目の踏みざんに乗って剪定作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、背骨を骨折するなどの重傷を負った。なお、取扱説明書には上から3段目以上の踏みざんに乗らない旨記載されていた。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	背中	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。	
196	下から1段目の踏みざんに片足、2段目にもう片方の足を置き、浴室の配水管の塗装をしていたところ、2段目踏みざんを留めているリベットが破損したことでバランスを崩して転落し、踵を骨折した。	脚立	不明	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	足	不明	-	-	レベルIII 重大	-	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。	
197	部屋の内装下地取付作業をするために、はしご兼脚立を脚立状態で使用し、天板を跨いで上から1段目の踏みざんに両足で乗り、作業をしていたところ、壁面を強く押すなどした拍子にバランスを崩して転落し、手を骨折した。なお、取扱説明書には「作業中に脚立の上で壁や物を無理に押し引きしたりすると反動で脚立が不安定になり転落のおそれがある」旨の記載があった。	脚立	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	重傷	転落	手	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。	
198	取壊作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、軽傷を負った。なお、滑り止め端具にエアシートと発砲スチロールが巻き付けられたままになっていた。	脚立	アルミ製・三脚	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	不明	不明	-	レベル5	レベルI 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。	

別紙1

ステータス	実施期間	実施責任者	実施メンバー	主な実施事項	備考
①危害シナリオ作成 ②リスク評価 ③リスク低減策提案	①2021年4月1日～7月31日 ②2021年8月1日～2021年12月31日 ③2022年1月1日～2022年3月31日	NITE製品安全センター 情報解析企画課 課長	情報解析企画課 解析チーム	①NITE事故情報、外部機関ヒヤリハット情報の内容を精査し危害発生シナリオを作成 ②FT図、FTAを作成し危害シナリオの漏れがないことを確認しリスクの洗い出しを実施 ③リスク低減策の提案	・転落事故の要因は①高齢者の無理な体勢(66件)②製品の破損(9件)のいずれかがトリガーだが、危害シナリオは①②を合わせたFTAを作成 ・重傷化率は37/75≒49%、補助者付き2/75≒3%、屋内：屋外=11:60=1:6 ・足の位置は天板、踏み棧：不明=6:39:30、落下平均高は1.38m、落下場所は舗装19、未舗装37、屋内11、その他・不明8

No.	NITE情報 危害シナリオ	a) 製品部位 製品仕様		b) ハザード 危害を引き起こす潜在的源			c) 使用環境・状況 ヒヤリハットなど様々な使用形態			d) 危害 人的被害、物的被害などの拡大被害			e) 安全規格・基準			f) リスク見積と評価 頻度×規模=大きさ			g) 追加対策の検討
		大分類	中分類	大分類	中分類	ヒヤリハット被害等	ヒヤリハット被害等	ヒヤリハット被害等	大分類	中分類	部位	規格	内容	頻度	規模	大きさ	内容		
199	右側支柱をコンクリートの平面に、左側支柱を土の上に設置し、作業をしていた。作業終了後上から3.4段目の踏みざんに足を掛けて降りたときの振動で支柱が開いたため、咄嗟に飛び降りて臀部を打撲する軽傷を負った。なお、事故以前に支柱に過大な力がかかったことで亀裂があった状態で使用していた。	脚立	アルミ製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる 天板を含む段数：9段 落下した段数：8段 落下場所：コンクリート	-	-	-	軽傷	転落	臀部	不明	-	レベル5	レベルⅠ 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
200	脚立から降りるときに足を踏み外して転落し、肋骨と手首を骨折する重傷を負った。	脚立	アルミ製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる 天板を含む段数：不明 落下した段数：不明 落下場所：不明	-	-	-	重傷	転落	胸部、手	不明	-	レベル5	レベルⅢ 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
201	玄関のタイル上に設置し、すす払いをしていて、バランスを崩して転落し、腰部と手を打撲するなどの軽傷を負った。	脚立	プラスチック製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、機械的強度の低さ、ユーザーが高所にいる 天板を含む段数：3段 落下した段数：3段 落下場所：玄関(タイル)	-	-	-	軽傷	転落	腰部、手	不明	-	レベル5	レベルⅠ 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
202	トラックの塗装をするためにコンクリート面に設置し、上から2段目に立ったときに脚が折れてバランスを崩して転落し肋骨、肘、膝を挫傷した。	脚立	不明	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる 天板を含む段数：5段 落下した段数：3段 落下場所：コンクリート	-	-	-	軽傷	転落	胸部、腕、脚部	不明	-	レベル5	レベルⅠ 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
203	剪定作業をするために、脚立に登り作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、頭部を打ち脳挫傷の重傷を負った。	脚立	不明	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる 天板を含む段数：不明 落下した段数：不明 落下場所：剪定(屋外)	-	-	-	重傷	転落	頭部	不明	-	-	レベルⅢ 重大	-	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
204	敷鉄板の上に設置し、天板をまたいでトンネル内の非常電話ボックスの点検・清掃作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、頭蓋骨骨折などの重傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる 天板を含む段数：3段 落下した段数：2段 落下場所：鉄板	-	-	-	重傷	転落	頭	不明	-	レベル5	レベルⅢ 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
205	ベランダに設置し、洗濯物を干していたところ、バランスを崩して転倒し、重傷を負った。	脚立	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる 天板を含む段数：2段 落下した段数：1段 落下場所：ベランダ(屋外)	-	-	-	重傷	転落	不明	不明	-	-	レベルⅢ 重大	-	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
206	窓ガラスの清掃をするためにコンクリートの平面に設置し作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、肋骨を骨折する重傷を負った。	脚立	アルミ製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる 天板を含む段数：不明 落下した段数：不明 落下場所：コンクリート	-	-	-	重傷	転落	胸部	不明	-	レベル5	レベルⅢ 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		

別紙1

ステータス	実施期間	実施責任者	実施メンバー	主な実施事項	備考
①危害シナリオ作成 ②リスク評価 ③リスク低減策提案	①2021年4月1日～7月31日 ②2021年8月1日～2021年12月31日 ③2022年1月1日～2022年3月31日	NITE製品安全センター 情報解析企画課 課長	情報解析企画課 解析チーム	①NITE事故情報、外部機関ヒヤリハット情報の内容を精査し危害発生シナリオを作成 ②FT図、FTAを作成し危害シナリオの漏れがないことを確認しリスクの洗い出しを実施 ③リスク低減策の提案	・転落事故の要因は①高齢者の無理な体勢（66件）②製品の破損（9件）のいずれかがトリガーだが、危害シナリオは①②を合わせたFTAを作成 ・重傷化率は37/75≒49%、補助者付き2/75≒3%、屋内：屋外＝11:60＝1:6 ・足の位置は天板、踏み棧：不明＝6:39:30、落下平均高は1.38m、落下場所は舗装19、未舗装37、屋内11、その他・不明8

No.	NITE情報 危害シナリオ	a) 製品部位 製品仕様		b) ハザード 危害を引き起こす潜在的源			c) 使用環境・状況 ヒヤリハットなど様々な使用形態			d) 危害 人的被害、物的被害などの拡大被害			e) 安全規格・基準			f) リスク見積と評価 頻度×規模＝大きさ			g) 追加対策の検討
		大分類	中分類	大分類	中分類	ヒヤリハット被害	ヒヤリハット被害	ヒヤリハット被害	大分類	中分類	部位	規格	内容	頻度	規模	大きさ	内容		
207	剪定作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、肩を骨折するなどの重傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる 天板を含む段数：4段(不明) 落下した段数：不明 落下場所：剪定(屋外)	-	-	-	重傷	転落	肩	不明	-	-	レベルIII 重大	-	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
208	剪定作業をするために、アスファルト面に設置して使用したところ、何らかの原因でバランスを崩して転落し頭部を強打し死亡した。	脚立	不明	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる 天板を含む段数：不明 落下した段数：不明 落下場所：アスファルト	-	-	-	死亡	転落	頭部	不明	-	-	レベルIV 致命的	-	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
274	【踏み台兼用】畳の上に設置し、押し入れ上部天袋の引き戸を開けようと乗ったところ、バランスを崩して転落し、肩を骨折・股関節を打撲するなどの重傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	金属製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる 天板を含む段数：不明 落下した段数：不明 落下場所：畳	-	-	-	重傷	転落	肩、股関節	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
275	新築中の住宅の屋内に設置し、天板をまたいで壁に空洞用の穴を開ける作業をおこなっていたところ、バランスを崩して転落し、足を骨折するなどの重傷を負った。なお、取扱説明書には天板をまたがない旨記載されていた。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる 天板を含む段数：4段 落下した段数：3段 落下場所：住宅(屋内)	-	-	-	重傷	転落	足	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
276	脚立の天板を跨いだ状態でビス留め作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、胸部を骨折する重傷を負った。なお、取扱説明書には「天板の上にまたがらない」旨の記載があった。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる 天板を含む段数：6段 落下した段数：6段 落下場所：不明	-	-	-	重傷	転落	胸部	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
277	屋根の上に資材を運ぶために、脚立状態で使用していたところ、伸縮脚のロックレバーのばねの強度が不足していたため、ばねが破損しロックが外れ伸縮脚が縮んだことで脚立が傾きバランスを崩して転落し、重傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的強度の低さ、ユーザーが高所にいる 天板を含む段数：不明 落下した段数：不明 落下場所：屋根(屋外)	-	-	-	重傷	転落	不明	不明	-	レベルIII 重大	-	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。			
278	砂利の上に設置し、天板をまたいでベランダの補修作業をおこなっていたところ、バランスを崩して転落し、肩を骨折するなどの重傷を負った。なお、取扱説明書には天板をまたがない旨記載されていた。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる 天板を含む段数：6段(不明) 落下した段数：不明 落下場所：砂利	-	-	-	重傷	転落	肩	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
279	傾斜のある地面に設置し、害虫駆除を終えた樹木から天板に乗り移ろうとしたところ、バランスを崩して転落し、胸部を骨折するなど重傷を負った。なお、取扱説明書には天板の上に立たない旨記載されていた。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる 天板を含む段数：不明 落下した段数：不明 落下場所：アスファルト	-	-	-	重傷	転落	胸部、手	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		

別紙1

ステータス	実施期間	実施責任者	実施メンバー	主な実施事項	備考
①危害シナリオ作成 ②リスク評価 ③リスク低減策提案	①2021年4月1日～7月31日 ②2021年8月1日～2021年12月31日 ③2022年1月1日～2022年3月31日	NITE製品安全センター 情報解析企画課 課長	情報解析企画課 解析チーム	①NITE事故情報、外部機関ヒヤリハット情報の内容を精査し危害発生シナリオを作成 ②FT図、FTAを作成し危害シナリオの漏れがないことを確認しリスクの洗い出しを実施 ③リスク低減策の提案	・転落事故の要因は①高齢者の無理な体勢(66件)②製品の破損(9件)のいずれかがトリガーだが、危害シナリオは①②を合わせたFTAを作成 ・重傷化率は37/75≒49%、補助者付き2/75≒3%、屋内:屋外=11:60=1:6 ・足の位置は天板、踏み棧:不明=6:39:30、落下平均高は1.38m、落下場所は舗装19、未舗装37、屋内11、その他・不明8

No.	NITE情報 危害シナリオ	a) 製品部位 製品仕様		b) ハザード 危害を引き起こす潜在的源			c) 使用環境・状況 ヒヤリハットなど様々な使用形態			d) 危害 人的被害、物的被害などの拡大被害			e) 安全規格・基準			f) リスク見積と評価 頻度×規模=大きさ			g) 追加対策の検討
		大分類	中分類	大分類	中分類	ヒヤリハット事例	ヒヤリハット事例	ヒヤリハット事例	大分類	中分類	部位	規格	内容	頻度	規模	大きさ	内容		
280	剪定作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、腰部を骨折するなどの重傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる 天板を含む段数:不明 落下した段数:不明 落下場所:柔らかい地面	-	-	-	重傷	転落 破損後に転落	腰部	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
281	脚立状態にして上から2段目の踏みざんに跨がって着板を取り付けていたところ、バランスを崩して転落し、顔と膝に擦過傷を負い、手を骨折する重傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる 天板を含む段数:6段 落下した段数:5段 落下場所:タイル	-	-	-	重傷	転落 転落後に破損	顔、手、脚部	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
282	砂利の上に設置し、天板にまたがって雨樋の掃除をしていたところ、バランスを崩して転落し、手を骨折するなどの重傷を負った。なお、取扱説明書には天板をまたがない旨記載がなかったが、安定しない地面には設置しない旨は記載があった。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる 天板を含む段数:5段 落下した段数:4段 落下場所:砂利	-	-	-	重傷	転落 破損後に転落	手	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
283	脚立状態でコンクリート面に設置して使用していたところ、開き止め金具のリベットが破損し、脚が開いた状態になりバランスを崩して転落し、胸部を強打し重傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる 天板を含む段数:不明 落下した段数:不明 落下場所:コンクリート	-	-	-	重傷	転落 転落後に破損	胸部	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
284	砂利の上に設置し、天板をまたいで自宅の改修作業を終え、両手に木材を持って降りようとしたところ、バランスを崩して転落し、手を骨折、顔を打撲するなどの重傷を負った。なお、取扱説明書には天板をまたがない旨、身体が得られないような荷物を持って昇降しない旨記載されていた。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる 天板を含む段数:6段 落下した段数:4段 落下場所:砂利	-	-	-	重傷	転落 転落後に破損	手、顔	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
285	コンクリートの平面に設置し、物置の中を片付ける作業を終了後、脚立から降りる途中にバランスを崩して転落し、大腿骨を骨折する重傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる 天板を含む段数:不明 落下した段数:不明 落下場所:コンクリート	-	-	-	重傷	転落 転落後に破損	脚部	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
286	平坦な土の上に設置し、剪定作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、胸部を骨折するなど重傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる 天板を含む段数:6段 落下した段数:3段 落下場所:土	-	-	-	重傷	転落 転落後に破損	胸部	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
287	コンクリートの平面に設置し、天板に乗ってトラックの洗車をしていたところ、バランスを崩して転落し、踵を骨折する重傷を負った。なお、取扱説明書には「バランスを崩して転落する危険があるため天板の上に乗ることを禁止する」旨の記載があった。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる 天板を含む段数:6段 落下した段数:6段 落下場所:コンクリート	-	-	-	重傷	転落 転落後に破損	足	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		

別紙1

ステータス	実施期間	実施責任者	実施メンバー	主な実施事項	備考
①危害シナリオ作成 ②リスク評価 ③リスク低減策提案	①2021年4月1日～7月31日 ②2021年8月1日～2021年12月31日 ③2022年1月1日～2022年3月31日	NITE製品安全センター 情報解析企画課 課長	情報解析企画課 解析チーム	①NITE事故情報、外部機関ヒヤリハット情報の内容を精査し危害発生シナリオを作成 ②FT図、FTAを作成し危害シナリオの漏れがないことを確認しリスクの洗い出しを実施 ③リスク低減策の提案	・転落事故の要因は①高齢者の無理な体勢(66件)②製品の破損(9件)のいずれかがトリガーだが、危害シナリオは①②を合わせたFTAを作成 ・重傷化率は37/75≒49%、補助者付き2/75≒3%、屋内:屋外=11:60=1:6 ・足の位置は天板、踏み棧:不明=6:39:30、落下平均高は1.38m、落下場所は舗装19、未舗装37、屋内11、その他・不明8

No.	NITE情報 危害シナリオ	a) 製品部位 製品仕様		b) ハザード 危害を引き起こす潜在的源			c) 使用環境・状況 ヒヤリハットなど様々な使用形態			d) 危害 人的被害、物的被害などの拡大被害			e) 安全規格・基準			f) リスク見積と評価 頻度×規模=大きさ			g) 追加対策の検討
		大分類	中分類	大分類	中分類	ヒヤリハット被害等	ヒヤリハット被害等	ヒヤリハット被害等	大分類	中分類	部位	規格	内容	頻度	規模	大きさ	内容		
288	駐車場のスロープ部分に設置し、蛍光灯交換作業をしていたところ、天板をまたごうとした際にバランスを崩して転落し、手を骨折・頭部と胸部を打撲するなどの重傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる 天板を含む段数:4段 落下した段数:3段 落下場所:駐車場(屋外)	-	-	-	重傷	転落	手、頭部、 転落後に 破損	JIS S1121- 2000 アルミニウム合金 製脚立及びはしご 満足する	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。			
289	剪定作業をするために、柔らかく平坦でない地面の上に設置して使用していたところ、バランスを崩して転落し、足首を骨折する重傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	金属製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる 天板を含む段数:不明 落下した段数:不明 落下場所:土	-	-	-	重傷	転落	足 転落後に 破損	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
290	脚立4本の脚の内、1本をコンクリート面に、残り3本を砂利の上に設置し、玄関のペンキ塗り作業を終了していた。作業後に片手にペンキの缶、もう片方の手に刷毛を持って降りようとしたところ、バランスを崩して転落しそうになったところ飛び降りたため、踵を骨折する重傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる 天板を含む段数:不明 落下した段数:不明 落下場所:コンクリート	-	-	-	重傷	転落	足 破損後に 転落	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
291	木製の板張りの床に設置し、電球交換を終え降りる際に足を滑らせ、バランスを崩して転落し、脚部を骨折するなどの重傷を負った。なお、靴下を履いて作業していた。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる 天板を含む段数:不明 落下した段数:不明 落下場所:木製の板張り	-	-	-	重傷	転落	脚部 転落後に 破損	不明	-	レベル5	レベルIII 重大	A2	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
292	剪定作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、頭部を打撲するなどの軽傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる 天板を含む段数:7段 落下した段数:6段 落下場所:剪定(屋外)	-	-	-	軽傷	転落	頭部 転落後に 破損	不明	-	レベル5	レベルI 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
293	自宅の屋根を手直するために、脚立状態で使用していたところ、バランスを崩して転落し、軽傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる 天板を含む段数:不明 落下した段数:不明 落下場所:屋根(屋外)	-	-	-	軽傷	転落	不明 転落後に 破損	不明	-	レベル5	レベルI 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
294	天板の上での大掃除を終え、降りようとしたところ、バランスを崩して転落し、脚部を打撲するなどの軽傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる 天板を含む段数:不明 落下した段数:不明 落下場所:不明	-	-	-	軽傷	転落	脚部 転落後に 破損	不明	-	レベル5	レベルI 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
295	壁拭き掃除の使用中に、片側を平らな床の上、もう片側をじゅうたんの上に設置して、下から2段目に乗り作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、軽傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる 天板を含む段数:3段 落下した段数:2段 落下場所:フローリング	-	-	-	軽傷	転落	不明 転落後に 破損	不明	-	レベル5	レベルI 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		

別紙1

ステータス	実施期間	実施責任者	実施メンバー	主な実施事項	備考
①危害シナリオ作成 ②リスク評価 ③リスク低減策提案	①2021年4月1日～7月31日 ②2021年8月1日～2021年12月31日 ③2022年1月1日～2022年3月31日	NITE製品安全センター 情報解析企画課 課長	情報解析企画課 解析チーム	①NITE事故情報、外部機関ヒヤリハット情報の内容を精査し危害発生シナリオを作成 ②FT図、FTAを作成し危害シナリオの漏れがないことを確認しリスクの洗い出しを実施 ③リスク低減策の提案	・転落事故の要因は①高齢者の無理な体勢(66件)②製品の破損(9件)のいずれかがトリガーだが、危害シナリオは①②を合わせたFTAを作成 ・重傷化率は37/75≒49%、補助者付き2/75≒3%、屋内:屋外=11:60=1:6 ・足の位置は天板、踏み棧:不明=6:39:30、落下平均高は1.38m、落下場所は舗装19、未舗装37、屋内11、その他・不明8

No.	NITE情報 危害シナリオ	a) 製品部位 製品仕様		b) ハザード 危害を引き起こす潜在的源			c) 使用環境・状況 ヒヤリハットなど様々な使用形態			d) 危害 人的被害、物的被害などの拡大被害			e) 安全規格・基準			f) リスク見積と評価 頻度×規模=大きさ			g) 追加対策の検討
		大分類	中分類	大分類	中分類	ヒヤリハット被害等	ヒヤリハット被害等	ヒヤリハット被害等	大分類	中分類	部位	規格	内容	頻度	規模	大きさ	内容		
296	傾斜のある地面に設置し、天板にまたがって剪定作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、頭部・肩・腰部・脚部を打撲するなどの軽傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	頭部、肩、	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
297	坂道に脚立状態で設置し、下から2段目の踏みざんに立ち階段の塗装作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、腕を打撲した。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	腕	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
298	傾斜のある地面に設置し、収穫作業を終え、降りようとしたところ、バランスを崩して転落し、顔に裂傷・手に打撲などの軽傷を負った。なお、取扱説明書には、傾斜している場所、安定しない場所や滑りやすい場所には設置しない旨記載されていた。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	①サイズ、形状、表面 ②位置エネルギー	①滑りやすい表面②機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	顔、脚部、	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
299	砂利の上に設置し、降りようとしたところ、バランスを崩して転落し、腹部を打撲するなどの軽傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、機械的強度の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	腹部	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
300	壁紙の張り替え作業のために自宅の室内で脚立状態にして、天板に両足を乗せた状態で使用していたところ、バランスを崩して転落し、腰に軽傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	腰	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
301	屋内の平らなコンクリートの上に設置し、天板にまたがり天井にアンカー固定作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、腰部・臀部を打撲するなどの軽傷を負った。なお、取扱説明書には天板にはまたがらない旨記載されている。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、機械的強度の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	腰部、臀部	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
302	少し傾斜のあるところで脚立状態で開き止め金具を掛けずに昇降面を背を向けて下から5段目の踏みざんに乗って作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、肩、腰、膝に軽傷を負った。なお、取扱説明書及び本体表示には製品を背にして昇り降りをしていない、両側の開き止め金具を確実にロックする旨の記載があった。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	肩、腰、脚	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		
303	木製のフローリングに設置し、天井のクロス張替えをしていたところ、バランスを崩して転落し、頭部、腕、手、脚部を打撲するなどの軽傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	機械的安定性の低さ、ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	頭部、腕、	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。		

別紙1

ステータス	実施期間	実施責任者	実施メンバー	主な実施事項	備考
①危害シナリオ作成 ②リスク評価 ③リスク低減策提案	①2021年4月1日～7月31日 ②2021年8月1日～2021年12月31日 ③2022年1月1日～2022年3月31日	NITE製品安全センター 情報解析企画課 課長	情報解析企画課 解析チーム	①NITE事故情報、外部機関ヒヤリハット情報の内容を精査し危害発生シナリオを作成 ②FT図、FTAを作成し危害シナリオの漏れがないことを確認しリスクの洗い出しを実施 ③リスク低減策の提案	・転落事故の要因は①高齢者の無理な体勢(66件)②製品の破損(9件)のいずれかがトリガーだが、危害シナリオは①②を合わせたFTAを作成 ・重傷化率は37/75≒49%、補助者付き2/75≒3%、屋内：屋外=11:60=1:6 ・足の位置は天板、踏み棧：不明=6:39:30、落下平均高は1.38m、落下場所は舗装19、未舗装37、屋内11、その他・不明8

No.	NITE情報 危害シナリオ	a) 製品部位 製品仕様		b) ハザード 危害を引き起こす潜在的源			c) 使用環境・状況 ヒヤリハットなど様々な使用形態			d) 危害 人的被害、物的被害などの拡大被害			e) 安全規格・基準		f) リスク見積と評価 頻度×規模=大きさ			g) 追加対策の検討
		大分類	中分類	大分類	中分類		ヒヤリハット被害等	ヒヤリハット被害	ヒヤリハット被害シナリオ	大分類	中分類	部位	規格	内容	頻度	規模	大きさ	内容
304	コンクリート面に設置して壁板張り付け作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、肩から足にかけて打撲を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	肩、足	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。	
305	パーティクルボードの上に設置し、作業をしていたときに天板を跨ごうとしたところ、バランスを崩して転落し、頭部、背中、腕、脚を打つ軽傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	頭部、背中、腕、脚	不明	-	レベル5	レベル1 軽微	B3	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティア、ただし、後付け安全補助器具はコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。	
306	屋根の補修をするために柔らかい地面に設置して、作業をしていたところ、バランスを崩して転落し軽傷を負った。	はしご兼用脚立(脚立として使用)	アルミ製	位置エネルギー	ユーザーが高所にいる	-	-	-	軽傷	転落	不明	JIS S1121-2000	アルミニウム合金製脚立及びはしご	-	レベル1 軽微	-	後付け安全補助器具や補助者、外注・作業ボランティアはコスト高、補助者や外注・作業ボランティアは担い手の不足等の課題がある。	

レベル	オーダー
5	4 頻発する
4	5 しばしば発生する
3	6 時々発生する
2	7 起こりそうにない
1	8 まず起こり得ない
0	9 考えられない

ステータス	実施期間	実施責任者	実施メンバー	主な実施事項	備考
① 危害シナリオ作成 ② リスク評価 ③ リスク低減策提案	① 2021年4月1日～7月31日 ② 2021年8月1日～2021年12月31日 ③ 2022年1月1日～2022年3月31日	NITE製品安全センター 情報解析企画課 課長	情報解析企画課 解析チーム	① NITE事故情報、外部機関ヒヤリハット情報の内容を精査し危害発生シナリオを作成 ② FT図、FTAを作成し危害シナリオの漏れがないことを確認しリスクの洗い出しを実施 ③ リスク低減策の提案	・転落事故の要因は①高齢者の無理な体勢(36件)、②製品の破損(12件)のいずれかがトリガーだが、危害シナリオは①②を合わせたFTAを作成 ・材質は金属、樹脂等=43:5 ・登降比率は28/48=58%、補助者付き0/45=0%、屋内：屋外：不明=21:23:4 ・足の位置は天板：踏み板：不明=30:10:8、落下平均高は61cm、落下場所は舗装12、未舗装11、屋内21、不明4

No.	NITE情報 危害シナリオ	a) 製品部位 事故発生箇所		b) ハザード 危害を引き起こす潜在的源		c) 使用環境・状況 ヒヤリハット番号			d) 危害 人的被害・物的被害などの區分		e) 安全規格・基準		f) リスク見積と評価 頻度×規模×大きさ			g) 追加対策の検討
		大分類	中分類	大分類	中分類	ヒヤリハット番号	ヒヤリハット内容	ヒヤリハットシナリオ	大分類	中分類	部位	規格	内容	頻度	規模	大きさ
1	高齢者が屋内で作業中、踏み台の天板に乗ったところ、踏み台ヒンジ部が破損してバランスを崩し、落下して臀部に重傷を負った。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：3段(天板) 落下した場所：床				重傷	製品破損後 に転倒・転落	臀部	耐荷重 100kg	レベル4	レベルIII 重大 重傷	A1	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。
2	屋外で天板にまたがって作業中、使用者がバランスを崩すなどの要因で転倒し、右手を骨折する重傷を負ったもの。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段(不明) 落下した段数：2段 落下した場所：地面(土)				重傷	転落・転倒 後に製品破損	手		レベル3	レベルIII 重大 重傷	B3	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。
3	高齢者が傾斜のある屋外で作業中、踏み台から降りようとしたところ、バランスを崩して転落し右腕に重傷を負った。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：降下中(不明) 落下した場所：地面(コンクリート)				重傷	転落・転倒 後に製品破損	腕		レベル2	レベルIII 重大 重傷	B2	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。
4	屋内で天板にまたがって作業中、使用者がバランスを崩すなどの要因で転倒したときに右足を骨折する重傷を負ったもの。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：2段 落下した場所：床				重傷	転落・転倒 後に製品破損	足		レベル2	レベルIII 重大 重傷	B2	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。
5	高齢者が屋内の階段踊り場で作業中、天板上に乗ったところ、踏み台のロッキングが外れてバランスを崩し、製品ごと階段から落下して足に踏み台脚部が刺さる重傷を負った。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：3段(天板) 落下した場所：床(フローリング)				重傷	転落・転倒 後に製品破損	足	耐荷重 100kg	レベル2	レベルIII 重大 重傷	B2	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。
6	屋外で畳の上に乗って作業中、製品に付いているストッパーの掛かりが不十分であったため、パイプが変形しバランスを崩して転落、左手を骨折する重傷を負ったもの。	踏み台(金属製)	上枠付折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段(不明) 落下した段数：3段(天板) 落下した場所：地面(コンクリート)				重傷	製品破損後 に転倒・転落	手		レベル2	レベルIII 重大 重傷	B2	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。
7	高齢者が屋外で作業をしていて、バランスを崩して転倒し、肋骨を骨折する重傷を負った。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：2段(不明) 落下した段数：2段(天板) 落下した場所：地面(コンクリート)				重傷	転落・転倒 後に製品破損	胸部		レベル2	レベルIII 重大 重傷	B2	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。
8	屋内で天板に乗って作業中、重心が端に乗ったことなどの理由でバランスを崩して転倒した際に、背中から転倒し骨折する重傷を負ったもの。	踏み台(木製)	足踏台	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：1段 落下した段数：1段(天板) 落下した場所：床(畳)				重傷	転落・転倒 後に製品破損	背中		レベル3	レベルIII 重大 重傷	B3	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。
9	高齢者が屋内で作業中、踏み台の天板に乗ったところ、踏み台の支柱が破損し、バランスを崩して転落して重傷を負った。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段(不明) 落下した段数：上昇中(不明) 落下した場所：床				重傷	転落・転倒 後に製品破損	足		レベル2	レベルIII 重大 重傷	B2	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。
10	屋内で天板に乗って作業中、使用者がバランスを崩すなどの要因で転倒したときに右足を骨折する重傷を負ったもの。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：3段(天板) 落下した場所：床				重傷	転落・転倒 後に製品破損	足		レベル2	レベルIII 重大 重傷	B2	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。
11	高齢者が曲がり階段の三角形踏み面で作業中、踏み台をしっかりと踏かず天板上で使用していたところ、バランスを崩して転落し、重傷を負った。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：2段(不明) 落下した段数：2段(天板) 落下した場所：床(フローリング)				重傷	転落・転倒 後に製品破損	頭部		レベル1	レベルIII 重大 重傷	B1	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。
12	屋内で天板上に乗って作業中、使用者がバランスを崩すなどの理由で転倒した際に右足を骨折する重傷を負ったもの。なお、使用者が当該製品の天板に乗るのは初めてであった。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：3段(天板) 落下した場所：床(コンクリート)				重傷	転落・転倒 後に製品破損	背中		レベル2	レベルIII 重大 重傷	B2	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。
13	高齢者が屋内の傾斜の上で作業中、踏み台から降りようとしたところ、バランスを崩して転落し、肋骨を骨折する重傷を負った。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段(不明) 落下した段数：降下中(不明) 落下した場所：床				重傷	転落・転倒 後に製品破損	胸部・腹部		レベル3	レベルIII 重大 重傷	B3	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。
14	屋内で踏み台を降りた際、使用者がバランスを崩すなどの理由で転倒した際に右足を骨折する重傷を負ったもの。なお、使用者は当該製品を滑りやすいフローリング材の上で使用し、右足を製品近くの机の端に掛けていた。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：2段 落下した場所：床(フローリング)				重傷	転落・転倒 後に製品破損	胸部		レベル2	レベルIII 重大 重傷	B2	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。
15	高齢者が屋外で作業中、踏み台の2段目に跨がって乗り、降りようとしたところバランスを崩して転倒した。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段(不明) 落下した段数：降下中(不明) 落下した場所：地面(コンクリート)				重傷	転落・転倒 後に製品破損	腕		レベル2	レベルIII 重大 重傷	B2	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。
16	屋内で天板の上作業中、何らかの原因で製品から転落し頭部を怪我する重傷を負ったもの。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：2段 落下した段数：2段(天板) 落下した場所：床(フローリング)				通院加療	転落・転倒 後に製品破損	頭部		レベル1	レベルII 中程度 通院加療	C	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。
17	高齢者が屋外で作業中、踏み台の2段目に乗ったところバランスを崩して転倒し、肋骨を骨折する重傷を負ったもの。	踏み台(金属製)	上枠付折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：2段 落下した場所：地面(土)				重傷	転落・転倒 後に製品破損	胸部・腹部		レベル4	レベルIII 重大 重傷	A1	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。

ステータス	実施期間	実施責任者	実施メンバー	主な実施事項	備考
①危険シナリオ作成 ②リスク評価 ③リスク低減策提案	①2021年4月1日～7月31日 ②2021年8月1日～2021年12月31日 ③2022年1月1日～2022年3月31日	NITE製品安全センター 情報解析企画課 課長	情報解析企画課 解析チーム	①NITE事故情報・外部機関ヒヤリハット情報の内容を精査し危険発生シナリオを作成 ②FT図、FTAを作成し危険シナリオの漏れがないことを確認しリスクの洗い出しを実施 ③リスク低減策の提案	・転落事故の要因は①高齢者の無理な体勢(36件)、②製品の破損(12件)のいずれかがトリガーだが、危険シナリオは①②を合わせたFTAを作成 ・材質は金属、樹脂等=43:5 ・登降化率は28/48=58%、補助者付き0/45=0%、屋内：屋外：不明=21:23:4 ・足の位置は天板：踏み棧：不明=30:10:8、落下平均高は61cm、落下場所は踏破12、未踏破11、屋内21、不明4

No.	危険シナリオ	a) 製品部位 事故発生箇所		b) ハザード 危害を引き起こす潜在的源		c) 使用環境・状況 ヒヤリハットなど様々な使用形態			d) 危害 人的被害・物的被害などの拡大的			e) 安全規格・基準		f) リスク見積と評価 頻度×規模=大きさ			g) 追加対策の検討
		大分類	中分類	大分類	中分類	ヒヤリハット番号	ヒヤリハット内容	ヒヤリハット発生シナリオ	大分類	中分類	部位	規格	内容	頻度	規模	大きさ	内容
18	使用者が天板に乗った際に何らかの原因で生じた亀裂が進展して天板が破断し脚が挟まれ転倒、脚を骨折する重傷を負ったもの。なお、当該製品は工事作業に使われコーキング剤が付着していたほか、天板と並行に足を載せるなど誤った使い方があった。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：3段(天板) 落下した場所：不明				重傷	製品破損後に転倒・転落	足			レベルⅡ 重大 重傷	B 2	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
19	高齢者が作業中、踏み台に乗っていたところ背面から転倒し、肋骨を骨折する重傷を負った。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：2段 落下した段数：不明 落下した場所：不明				重傷	転落・転倒後に製品破損(してない)	胸部・腹部			レベルⅢ 重大 重傷	B 1	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
20	屋外で踏み棧に乗って作業中、何らかの原因で製品から転倒し、頭部などを打撲する重傷を負ったもの。なお、製品を土の上に置いて使用していた。	踏み台(金属製)	上枠付折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：4段 落下した段数：3段 落下した場所：地面(土)				重傷	転落・転倒後に製品破損	頭部・手足			レベルⅢ 重大 重傷	B 3	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
21	高齢者が屋内で作業中、踏み台から降りようとしていたところバランスを崩して転倒し、足を骨折する重傷を負った。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：1段 落下した場所：床(絨毯)				重傷	転落・転倒後に製品破損	足			レベルⅡ 重大 重傷	B 2	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
22	屋外(道路上)で製品を使用中、身を振り出したことによりバランスを崩して転倒し、肋骨を骨折する重傷を負ったもの。	踏み台(金属製)	上枠付折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：2段 落下した場所：地面(アスファルト)				重傷	転落・転倒後に製品破損	胸部		不明	レベルⅢ 重大 重傷		滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
23	高齢者が屋内で作業中、踏み台に乗っていたところバランスを崩して転倒し、肋骨を骨折する重傷を負った。	踏み台(金属製)	上枠付折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：不明 落下した場所：床				重傷	転落・転倒後に製品破損	胸部・腹部		最大使用重量100kg*	レベルⅢ 重大 重傷	不明	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
24	屋内で製品の天板に乗った際、使用者がバランスを崩すなどの理由で転倒し、脚と頭を打撲する軽傷を負った。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：2段 落下した段数：2段(天板) 落下した場所：床(フローリング)			通院加療	軽傷	転落・転倒後に製品破損	頭部・脚部			レベルⅡ 中程度 通院加療	B 1	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
25	高齢者が屋外で作業中、踏み台の天板に乗り出したところバランスを崩して転倒し、その拍子に跳上がった踏み台が顔面にあたり鼻を骨折した。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：3段(天板) 落下した場所：地面(土)			入院加療	軽傷	転落・転倒後に製品破損	顔		最大使用重量100kg*	レベルⅢ 重大 入院加療	B 3	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
26	屋外で天板に乗って作業中、閉止止め金具をロックしなかったため、片脚部が折りたたまれ転倒し、軽傷を負ったもの。	踏み台(金属製)	足場台	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：3段(天板) 落下した場所：地面(コンクリート)			通院加療	軽傷	製品破損後に転倒・転落	腕・背中			レベルⅡ 中程度 通院加療	B 1	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
27	高齢者が屋外で作業中、踏み台の2段目を登ろうとしていたところ、バランスを崩して転倒し、軽傷を負った。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：1段 落下した場所：地面(アスファルト)			通院加療	軽傷	転落・転倒後に製品破損	腕・腰			レベルⅣ 軽微 軽傷	B 2	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
28	屋内で製品を使用中、使用者がバランスを崩すなどの理由で転落した際に軽傷を負ったもの。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：2段 落下した段数：2段(不明) 落下した場所：床(絨毯)			通院加療	軽傷	転落・転倒後に製品破損	腕			レベルⅢ 中程度 通院加療	B 2	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
29	高齢者が屋外で作業中、踏み台の天板上で位置を変えたところ、バランスを崩して転倒し、足を打撲する軽傷を負った。	踏み台(金属製)	足場台	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：3段(天板) 落下した場所：地面(土)			軽傷	軽傷	転落・転倒後に製品破損	足		耐荷重100kg	レベルⅢ 軽微 軽傷	B 1	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
30	屋内で踏み棧に乗って作業中、支柱と固定するビスが緩んだ状態で使用を続けたため、踏み棧が外れ転倒、頭部打撲の軽傷を負ったもの。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：2段 落下した段数：1段 落下した場所：床(フローリング)			通院加療	軽傷	製品破損後に転倒・転落	頭部		不明	レベルⅡ 中程度 通院加療	B 2	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
31	高齢者が屋外の踏み台天板上で作業していたところ、バランスを崩して転倒し頭部と足を負傷する軽傷を負った。	踏み台(金属製)	足場台	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：3段(天板) 落下した場所：地面(コンクリート)			軽傷	軽傷	転倒・転落後に製品破損(してない)	頭部・足		最大使用重量100kg	レベルⅢ 軽微 軽傷	B 1	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
32	屋外(凹凸のある芝生)で天板に乗って作業中、端部に体重をかけたため破損するとともにバランスを崩した後転倒、軽傷を負ったもの。なお、取扱説明書には踏み台が安定しない場所には設置しない、確に乘らない旨表示されていた。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：2段 落下した段数：2段(天板) 落下した場所：地面(土)			軽傷	軽傷	製品破損後に転倒・転落	脚部			レベルⅡ 軽微 軽傷	C	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
33	高齢者が屋外で作業中、踏み台の天板に乗って作業していたところ、バランスを崩して転倒し、軽傷を負った。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：2段 落下した段数：2段(天板) 落下した場所：地面(アスファルト)			軽傷	軽傷	転落・転倒後に製品破損	不明		耐荷重100kg	レベルⅢ 軽微 軽傷	C	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	

ステータス	実施期間	実施責任者	実施メンバー	主な実施事項	備考
①危害シナリオ作成 ②リスク評価 ③リスク低減策提案	①2021年4月1日～7月31日 ②2021年8月1日～2021年12月31日 ③2022年1月1日～2022年3月31日	NITE製品安全センター 情報解析企画課 課長	情報解析企画課 解析チーム	①NITE事故情報、外部機関ヒヤリハット情報の内容を精査し発生シナリオを作成 ②FTA図、FTAを作成し発生シナリオの漏れがないことを確認しリスクの洗い出しを実施 ③リスク低減策の提案	・転落事故の要因は①高齢者の無理な体勢(36件)、②製品の破損(12件)のいずれかがトリガーだが、危害シナリオは①②を合わせたFTAを作成 ・材質は金属、樹脂等=43:5 ・登降比率は28/48=58%、補助者付き0/45=0%、屋内：屋外：不明=21:23:4 ・足の位置は天板：踏み棧：不明=30:10:8、落下平均高は61cm、落下場所は舗装12、未舗装11、屋内21、不明4

No.	NITE情報 危害シナリオ	a) 製品部位 事故発生箇所		b) ハザード 危害を引き起こす潜在的源		c) 使用環境・状況 ヒヤリハット番号			d) 危害 人的被害・物的被害などの拡散			e) 安全規格・基準			f) リスク見積りと評価 頻度×規模=大きさ			g) 追加対策の検討
		大分類	中分類	大分類	中分類	ヒヤリハット番号	ヒヤリハット内容	ヒヤリハットシナリオ	大分類	中分類	部位	規格	内容	頻度	規模	大きさ	内容	
34	屋外で製品にまたがって使用中、何らかの原因で製品から転落し、足を捻挫する軽傷を負ったもの。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：2段 落下した場所：地面(土)				軽傷	転落・転倒後に製品破損	足・脚部		最大使用重量100kg	レベル2	レベルI 軽微 軽傷	C	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
35	高齢者が屋外で作業中、踏み台の天板上に乗っていたところ、バランスを崩して転倒し、足に軽傷を負った。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：3段(天板) 落下した場所：地面(土)				通院加療	転落・転倒後に製品破損	足		最大使用重量100kg	レベル2	レベルII 中程度 通院加療	B1	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
36	屋内で天板上に乗って作業中、天板上で背伸びをしてバランスを崩し頭部に軽傷を負ったもの。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：3段(天板) 落下した場所：床(フローリング)				通院加療	転落・転倒後に製品破損	頭部			レベル4	レベルII 中程度 通院加療	B3	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
37	高齢者が屋外で作業中、踏み台の天板から1段目に足をかけて降りようとしたところ、踏み残の片側が外れてバランスを崩し、転倒して軽傷を負った。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：2段 落下した段数：1段 落下した場所：地面(コンクリート)				軽傷	製品破損後に転倒・転落	頭		最大使用重量100kg	レベル3	レベルI 軽微 軽傷	B1	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
38	屋外で製品を使用中、何らかの原因で製品から転落し全身を打撲する軽傷を負ったもの。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：2段 落下した段数：不明 落下した場所：地面				軽傷	転落・転倒後に製品破損	全身		耐荷重約100kg*	レベル3	レベルI 軽微 軽傷	B1	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
39	高齢者が屋外で作業中、踏み台の天板上に上り下りしたところバランスを崩し、転倒して軽傷を負った。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：2段 落下した段数：2段(天板) 落下した場所：地面(砂)				軽傷	転落・転倒後に製品破損	背中・手		最大使用重量100kgf*	レベル2	レベルI 軽微 軽傷	C	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
40	屋内で製品を使用中、バランスを崩すなどの理由で製品から転落し軽傷を負ったもの。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：2段 落下した段数：不明 落下した場所：床				通院加療	転落・転倒後に製品破損	不明			レベル1	レベルII 中程度 通院加療	C	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
41	高齢者が屋外で作業中、踏み台の天板上で身を乗り出したところバランスを崩し、転倒して頭部に軽傷を負った。	踏み台(金属製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：3段(天板) 落下した場所：地面(タイル)				入院加療	転落・転倒後に製品破損	頭部		最大使用重量100kg	レベル3	レベルIII 重大 入院加療	B3	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
42	屋外で製品を使用中、バランスを崩すなどの理由で製品から転落し軽傷を負ったもの。なお、使用者は製品から乗り出す形で使用していた。	踏み台(金属製)	上枠付折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：3段(天板) 落下した場所：地面(コンクリート)				軽傷	転落・転倒後に製品破損	不明		不明	レベル1	レベルI 軽微 軽傷		滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
43	高齢者が樹脂製の踏み台に座っていたところ、踏み台の脚部が破損して転倒し、倒れ込んだ先の窓ガラスを突き破って重傷を負った。	踏み台(樹脂製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：1段 落下した段数：1段(天板) 落下した場所：不明				重傷	製品破損後に転倒・転落	頭部・手		耐荷重約150kg*	レベル3	レベルIII 重大 重傷	B3	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
44	屋外で製品を使用中、荷重に対する耐力が不十分であったため、天板に足を載せた際に製品が破損して製品が割れる軽傷を負ったもの。	踏み台(樹脂製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：1段 落下した段数：1段(天板) 落下した場所：地面(コンクリート)				重傷	製品破損後に転倒・転落	足			レベル2	レベルIII 重大 重傷	B2	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
45	高齢者が樹脂製の踏み台に座っていたところ、踏み台の脚部が破損して転倒し、頭部を打つ軽傷を負った。	踏み台(樹脂製)	折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：1段 落下した段数：1段(天板) 落下した場所：不明				軽傷	製品破損後に転倒・転落	頭部			レベル2	レベルI 軽微 軽傷	C	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
46	屋内で製品を使用中、製品を折りたたむ際に不注意で指を挟み軽傷を負ったもの。	踏み台(金属製)	上枠付折りたたみ式	互いに交叉して動く部品	天板を含む段数：2段 落下した場所：-※挟み込み事故				通院加療	挟み込み	指		耐荷重100kg	レベル2	レベルII 中程度 通院加療	B1	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
47	高齢者が屋内で踏み台の天板上で作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、重傷を負った。	踏み台(金属製)	足場台	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：2段 落下した段数：2段(天板) 落下した場所：床				重傷	転落・転倒後に製品破損	頭部、背中、腰			レベル3	レベルIII 重大 重傷	B3	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	
48	屋内で製品の天板上で作業中、何らかの原因で製品から転落、右手を骨折する重傷を負ったもの。	踏み台(木製)	上枠付折りたたみ式	ユーザーが高所にいる	天板を含む段数：3段 落下した段数：3段(天板) 落下した場所：床(フローリング)				重傷	転落・転倒後に製品破損	手			レベル4	レベルIII 重大 重傷	A1	滑らない踏みざん、幅広の踏みざん、緩勾配、取説・表示の強化。ただし、頭部保護具は実装化されているが使い勝手が悪く、補助者は取説に未記載等の課題がある。	

レベル	オーダー
5	4 頻発する
4	5 しばしば発生する
3	6 時々発生する
2	7 起こりそうにない
1	8 まず起こり得ない
0	9 考えられない